

広島県保護司会連合会 第1回地域活動部会（犯罪予防活動）報告



地域活動部会
曾川恵二 部会長

広島県保護司会連合会第1回地域活動部会（犯罪予防活動）が令和4年10月18日に広島保護観察所にて開催されました。曾川恵二地域活動部会部会長、広島保護観察所小野治文企画調整課長の挨拶にはじまり、下記の議題について協議されました。

議 題

- (1) 地域活動部会（犯罪予防活動）の任務について
- (2) 各地区会における地域活動（犯罪予防活動）について
- (3) 今後の部会活動について
- (4) その他

出席者

広島保護観察所

企画調整課長 小野 治文
企画調整課保護観察官 松尾 大基

広島県保護司会連合会 地域活動部会

部 会 長 曾川 恵二（中）
副部会長 久保 宏隆（安芸）
部 員 長田 克司（山県）
山岡 壮吾（安佐北）
吉川 水貴（広島佐伯）
事務局長 藤川 洋（広島佐伯）
書 記 栗山 久子（県保連）

※水戸浩文（三次）地域活動部員は欠席。



料金後納
郵便

更生保護 ひろしま

第791号

令和4年
11月1日発行

第三種郵便物認可
昭和33年3月30日
毎月1日発行

昭和二十五年十一月二十六日
広島地方少年保護司連合會總會
於 広島市大手町農協ビル講堂

目次

- 赤い羽根共同募金 今年もスタート 2
- 広島県保護司会連合会 第1回 協力組織部会 報告 3
- 自由民主党政務調査会再犯防止推進特別委員会
による更生保護関係者との意見交換会 4
- 「広島県における再犯防止施策の更なる推進について」要望書提出 6
- 広島県保護司会連合会 第1回地域活動部会（犯罪予防部会）報告 8

更生保護ひろしま 第791号

昭和27年8月創刊 毎月1回1日発行 定価35円

編 集 「更生保護ひろしま」編集委員会
発 行 広島市中区上八丁堀2-31
広島県保護司会連合会
☎ (082) 221-4496

本誌内すべての内容の無断転載および複製を禁じます。

広島保護観察所
勤務時間外における緊急連絡先
夜間・休日等に事件関係等で緊急に連絡を取りたい場合は下記に御連絡願います。

● 保護観察事件等 090-8990-3261
● 保護司関係 080-4554-4661

赤い羽根共同募金 今年もスタート



県共同募金会の事務局に置かれた募金箱とコラボTシャツの申込書

「じぶんの町を良くするしくみ。」をメインテーマとする赤い羽根共同募金が今年も10月1日、全国一斉に始まりました。広島県では社会福祉法人広島県共同募金会（池谷公二郎会長）が広島東洋カープとのコラボグッズを用意し、皆さんからの善意を待っています。

赤い羽根は終戦直後の昭和22年に「国民たすけあい運動」として始まり、今年で76回目。今では高齢者の見守り、子育て支援、生活困窮者の支援など、住民同士が支え合う「地域共生社会」づくりを進める活動資金として幅広く配分されています。

全国一斉の運動ですが、社会福祉法により都道府県単位で寄付金を募り、寄せられた浄財はその都道府県内で配分されます。すなわち、その額は「地域力」の物差しの一つでもあるわけです。

広島県の赤い羽根共同募金は、ユニークな特徴が二つあります。一つはカープ球団の協力を得たコラボグッズの数々。街頭などで募金に協力するとステッカー、さらに一定額以上になるとピンバッジやクリアファイルが用意されています。1着2600円のコラボTシャツを注文して購入すれば、うち600円が寄付されます。

一人一人のファンが支える「市民球団」カープと、自分たちの地域を自分たちで元気づけようという共同募金。まさにコラボらしいコラボと言えます。

もう一つが「ESD支援プロジェクト」と名付けられた地域テーマ募金です。これは「持続可能な地域社会づくり」の実現を目指すプロジェクトを地域が計画し、その趣旨に賛同する住民が寄付する使途選択募金（ドナーチョイス）の仕組み。しかも、例えば地域の伝統文化を継承しようとする小中学校の取り組みに地域住民が善意を寄せれば、その総額に共同募金会が上乗せ分を追加して配分してくれるのです。

ただ昨今は、いわゆる「中間層」が縮んできたことに加え、都市化が進んでコミュニティが弱まった地域ほど募金が集まりにくい傾向が強まっています。中国5県の県別募金総額をみると、山口、岡山に次いで広島は3位だそうです。

その広島県の本年度の募金目標額は前年度実績より約15%増の3億5000万円。新監督率いる新井カープとともに、踏ん張りどころですね。

募金の申し込みは各市町の社会福祉協議会へ。

（更生保護ひろしま編集委員会）



カープ球団の協力で用意されたコラボグッズとTシャツ

広島県保護司会連合会 第1回協力組織部会 報告

広島県保護司会連合会第1回協力組織部会が令和4年10月7日に広島保護観察所にて開催されました。橋詰健協力組織部会部会長、広島保護観察所小野治文企画調整課長の挨拶にはじまり、下記の議題について協議しました。活発な質問や意見が交わされました。

議 題

- (1) 協力組織部会の任務について
- (2) 協力組織と更生保護法人
- (3) 今年度における協力組織部会の活動について
- (4) 今後の部会活動について
- (5) その他

出席者

広島保護観察所

企画調整課長 小野 治文
企画調整課保護観察官 松尾 大基

広島県保護司会連合会 協力組織部会

部 会 長 橋詰 健 （安芸高田）
部 員 藤田 宗広 （三原）
西川 照顯 （中）
山田 陽子 （西）
事務局長 藤川 洋 （広島佐伯）
書 記 栗山 久子 （県保連）

※森本慶治（大竹）、田坂健爾（府中）は欠席

自由民主党政務調査会再犯防止推進特別委員会 による更生保護関係者との意見交換会

日時：令和4年9月21日（水） 場所：広島保護観察所



令和4年9月21日（水）、広島保護観察所1階集団処遇室において、自由民主党政務調査会再犯防止推進特別委員会による広島県内の更生保護関係者との意見交換会が開催されました。



再犯防止推進特別委員会委員長
渡辺博道 衆議院議員



当日は、再犯防止推進特別委員会委員長渡辺博道衆議院議員、同顧問田中和徳衆議院議員、同副委員長平口洋衆議院議員をお迎えし、各更生保護関係機関団体の代表の方々から現状や課題などをお伝えしました。

その後、刑務所出所者等の住居確保策などについて活発な意見交換が行われ、大変有意義な会になりました。



再犯防止推進特別委員会
顧問 田中和徳 衆議院議員



再犯防止推進特別委員会
副委員長 平口洋 衆議院議員



広島県保護司会連合会
八崎則男 会長



出席者

衆議院議員（再犯防止推進特別委員会委員長）
衆議院議員（再犯防止推進特別委員会顧問）
衆議院議員（再犯防止推進特別委員会副委員長）
更生保護法人ウィズ広島理事長
更生保護法人呉清明園理事長
広島県保護司会連合会会長
広島県更生保護女性連盟会長
広島県更生保護協会理事長
広島県就労支援事業者機構会長
広島県協力雇用主会連絡協議会会長
広島県環境県民局県民活動課長
法務省保護局総務課長
中国地方更生保護委員会委員長
広島保護観察所長

渡辺 博道
田中 和徳
平口 洋
山田 勘一
平原 正敏
八崎 則男
山野 千佳子
松藤 研介
苅田 知英
牧尾 良二
中村 好宏
瀧澤 千都子
三本松 篤
山田 浩司

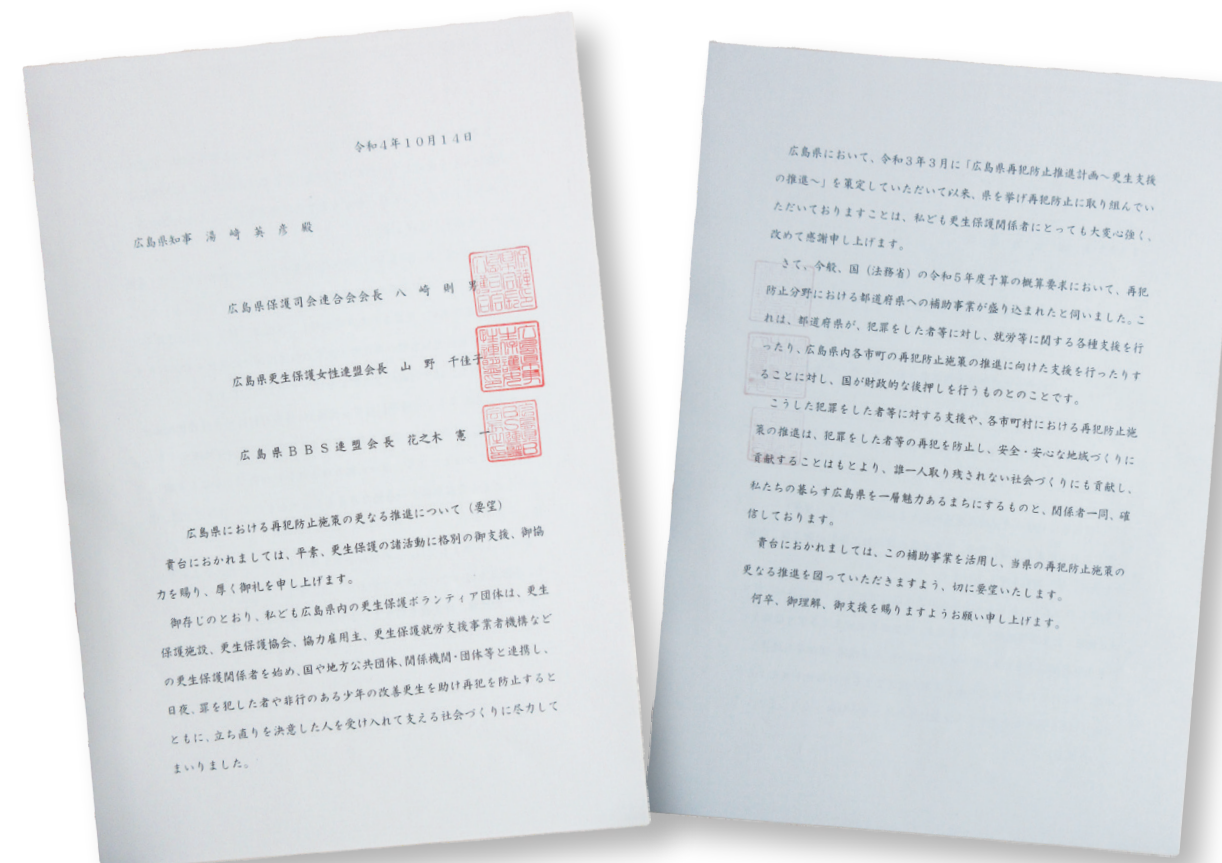
「広島県における再犯防止施策の更なる推進について」要望書提出



(写真左より) 広島県環境県民局 新宅郁子局長に要望書を提出する広島県保護司会連合会八崎則男 会長、広島県更生保護女性連盟 山野千佳子会長、広島県BBS連盟 花之木憲一 会長

令和4年10月14日、広島保護観察所 山田浩司所長、同 豊島浩文次長、広島県保護司会連合会 八崎則男会長、広島県更生保護女性連盟 山野千佳子会長、広島県BBS連盟 花之木憲一 会長が広島県庁を訪問し、環境県民局 新宅郁子局長に対し、湯崎英彦知事宛「広島県における再犯防止施策の更なる推進について」の要望書を提出しました。

広島県においては、令和3年3月に「広島県再犯防止推進計画～更生支援の推進～」を策定していただいて以来、県を挙げ再犯防止に取り組んでいただいておりますが、今般、国（法務省）の令和5年度予算の概算要求において、再犯防止分野における都道府県への補助事業（都道府県が犯罪をした者等に対し、各種支援を行ったり、都道府県下各市町村の再犯防止施策の推進に向けた支援を行ったりすることに対し、国が財政的な後押しを行うもの。）が盛り込まれることとなったため、この補助事業を活用し、広島県の再犯防止施策の更なる推進を図っていただきますよう、切に要望いたしました。



こうした犯罪をした者等に対する各種支援（直接支援）や各市町村の再犯防止施策の推進に向けた支援（基礎自治体支援）は、犯罪をした者等の再犯を防止し、安全・安心な地域づくりに貢献することはもとより、誰一人取り残されない社会づくりにも貢献し、私たちの暮らす広島県を一層魅力あるまちにするものと、確信しております。

出席者

広島県環境県民局	新宅 郁子 局長	広島保護観察所	山田 浩司 所長
広島県県民活動課	中村 好宏 課長	広島保護観察所	豊島 浩文 次長
広島県県民活動課	広兼 こずえ 主査	広島県保護司会連合会	八崎 則男 会長
広島県県民活動課	村上 裕哉 主事	広島県更生保護女性連盟	山野 千佳子 会長
		広島県BBS連盟	花之木 憲一 会長